

## キンダーガルテンの

### 本来の意味

#### 幼稚園創立百五十周年を迎えて

莊司 雅子

幼児教育の父と呼ばれているフリードリヒ・フレーベルは、幼児のために創立した学園を一八四〇年「キンダーガルテン」(Kindergarten)と名づけた。今から百五十年前のことである。わが国では一

八七六年(明治九)関信三がキンダーガルテンを「幼稚園」と訳して東京女子師範学校に附設して今日に至っている。フレーベルがキンダーガルテンという名称を見つけるまでは、自分の開いた学園を「遊びおよび作業教育所」と呼んでいた。フレーベ

ルの考えによれば、幼児教育は、まず、遊びと作業によらなければならないのである。幼児は遊びと行動で学ぶほかはないからである。そのためにフレーベルは、まず、母と保育者が乳幼児と遊ぶための遊びや歌を創作し、乳幼児のための教育遊具を考案し創作した。そしてこれらの遊びや遊具がドイツ全土の家庭に、保育施設に、そして幼児のためのすべての学園に普及され、そこで母と保母と教師の暖かい保育と指導によって乳幼児の本来もっている神からあたえられた創造衝動や表現衝動を正しく純粋に発揮することができるように希望した。

そこで、乳幼児をこのように保育指導できる保育者の養成のために、フレーベルは保育養成所を開設した。これが今日の保母や乳幼児教育者養成のそもその原点である。この養成所にフレーベルはプランケンブルクという町の六歳以下の幼児を集めて、自分の創作した遊びや遊具で幼児を保育した。その

後フレーベルはこの学園を「キンダーガルテン」という名称をつけ一八四〇年六月二十八日に創立の式典をあげた。

「キンダー」は幼児のことであり、「ガルテン」は庭園のことであるから、正確には「幼児園」「子ども庭」という意味である。またフレーベルがこのとき意味したキンダーガルテンは、今日わが国の教育制度で決めているように、三歳児からの幼児教育機関を意味するのではなく、乳児から就学年齢までの子どもの教育の場を意味するものであった。したがって今日のわが国の乳児園や保育所はいずれも、フレーベルの意味するキンダーガルテンに含まれる。いな、家庭もフレーベルが意味するような乳幼児の保育をしていけば、それもキンダーガルテンに含まれる。

キンダーガルテンの意味は、ちょうど自然の園で植物が思慮深い庭師の世話と手入れによって生き生

きとその本質をあらわしているように、世の母や保育者、教育者は乳幼児の本質を生き生きと発展させなければならぬ。また庭師が、園の植物が単に自己の個性を發揮するだけでなくて、自己以外の植物の個性の發揮を妨害しないように手入れして調和のある園を営んでいるように、母や保育者は、家庭で、保育施設で、乳幼児の個性を發揮させ、社会性を育てるようにしなければならない。そして、一人ひとりの幼児はこのような庭師に見守られて、それぞれの園で何らの抵抗なしに嬉々として活動し表現し行動し創造しつつ、自らの内の力を發揮することができる場所、それがフレーベルの意味するキンダーガルテンである。

キンダーガルテン創立百五十周年を迎えて今更幼稚園の原点を考えさせられざるをえないのである。

(日本保育学会会長)